

日本建築学会 環境工学委員会建築設備運営委員会 2011 年度第 4 回 議事録

- A. 日時 2011 年 9 月 20 日 (火) 17:00～19:30
B. 場所 建築会館会議室
C. 出席 主査：羽山広文、幹事：柳井崇、郡公子、委員：(赤司泰義)、(秋元孝之)、石川幸雄、石野久彌、(猪岡達夫)、(宇田川光弘)、岡建雄、(川瀬貴晴)、古賀誉章、(小林陽一)、(坂上恭助)、(佐野武仁)、清水昭浩、(高井啓明)、高草智、(千葉隆文)、仲野章生、(中野淳太)、(二宮秀興)、野部達夫、(本間睦朗)、(吉田治典)
()付きは欠席、敬称略・順不同)

D. 配付資料

- 資料 No.4-1 2011 年度第 4 回建築設備運営委員会議事次第
資料 No.4-2 2011 年度第 2 回建築設備運営委員会議事録案
資料 No.4-3-1 学術推進委員会および各委員会からの依頼事項
資料 No.4-3-2 2012 年大会 OS テーマ：環境建築の最新性能
資料 No.4-3-3 2012 年日本建築学会教育賞候補推薦書
資料 No.4-3-4 2012 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類ご提出の依頼
資料 No.4-4-0 2012 年度委員会活動計画案 (建築設備運営委員会)
資料 No.4-4-2 2012 年度委員会活動計画案 (環境選択型空調設計小委員会)
資料 No.4-4-4 次世代排水システム小委員会 活動報告 2011/9/20
資料 No.4-4-5 2012 年度委員会活動計画案 (環境建築設計法小委員会)
資料 No.4-4-7 シンポジウム”見る・使う・学ぶ環境建築”
資料 No.4-5 第 7 回建築設備シンポジウム「環境建築の最新性能について考える」
資料 No.4-5-2 第 7 回建築設備シンポジウム 動員計画(案)
資料 No.4-6 2012 年度大会 PD/研究懇談会の企画に関するご相談
東日本大震災に伴う節電環境から考えるこれからの設備計画

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され承認された (資料 No.4-2)。
2. 環境工学本委員会からの依頼項目について確認された (資料 No.4-3-1)。
 - 1)2012 年度大会 OS：「環境建築の最新性能」を申請した (資料 No.4-3-2)。
 - 2)2012 年度開始特別研究委員会公募について
 - 3)2012 年度技術部門設計競技の課題検討ならびに実施の依頼
 - 4)2012 年度開始「若手奨励」特別研究委員会：応募する場合 10/14 までに羽山主査へ提案書を提出
 - 5)2012 年度教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦書
 - 6)2012 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類 (資料 No.4-3-4)
3. 教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦について報告され、審議された (資料 No.4-3-3)。
 - ・メール審議の後事務局に提出された推薦書 (荒谷登北大名誉教授) について、羽山主査より説明がされた。
 - ・推薦機関を更に増やしてはどうかとの意見が出された。
4. 2012 年度委員会活動計画案について、説明・確認された (資料 No.4-3-4)。
 - ・現在、建築設備運営委員会、環境選択型空調設計小委員会、環境建築設計法小委員会の活動計画案が提出されている。
 - ・次世代排水システム小委員会は、新しい委員会を設定する場合は設置申請が必要であるとの説明

がされ、確認された。ほかに、会員外委員委嘱の場合の注意などが確認された。

- ・計画案提出期限（提出先：羽山主査）は 10/14 である。

5. 委員会の活動報告

1) 建築設備運営委員会（羽山主査、資料 No.4-4-0）

- ・次年度活動計画案について説明された。
- ・委員の交代・追加などがある場合は、10/14 までに羽山主査に連絡することになった。

2) 環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討小委員会（石川小委主査）

- ・性能項目とレベルの一覧表の作成・検討、見学会の計画を行っている。

3) 環境選択型空調設計小委員会（野部小委主査、資料 No.4-4-2）

・次年度活動計画案について説明された。今年度の活動成果として 12 月開催予定のシンポジウムがある。今後も隔年でシンポジウムか OS を開催する計画である。

4) 気象データ小委員会

- ・委員会の開催がなく報告事項はなかった。

5) 次世代排水システム小委員会（古賀委員、資料 No.4-4-4）

- ・次世代排水システムのスタンダードを目指している。機械排水設計 WG の議事録が報告された。

6) 環境建築設計法小委員会（羽山主査、資料 No.4-4-5）

- ・環境建築シンポジウムの最終確認と飯野ビルの見学を行った。次年度計画案が説明された。

7) 「建築一体化設備のデザイン」出版小委員会（石野小委主査、資料 No.4-4-7）

・9/21 開催予定の見る・使う・学ぶ環境建築シンポジウムは 184 名の参加希望があり、出版物も販売される予定である。参加者にアンケートをとる予定である。

6. 2011 年度第 7 回建築設備シンポジウムについて（資料 No.4-5、4-5-2）

・柳井幹事より、参加申込み状況と参加勧誘の分担案が説明された。これをもとに、各組織への勧誘担当を審議して決めた。柳井幹事に、分担表・シンポジウムポスター・プログラムの勧誘担当者への送付、また参加申込み状況の連絡（10/11 頃）をお願いした。

・原稿提出状況（9/16 締め切り）について、14 題中 6 題のみ提出との報告がされた。柳井幹事に原稿の催促をして頂くことになった。

- ・今年度も参加者にアンケートを行うこととし、内容をこれから検討することになった。

・環境工学研究者名簿に記載されている会員へ、シンポジウム開催案内をメール配信することになった（事務局への依頼担当：羽山主査）。

- ・懇親会を企画し、講演者、委員に参加の案内をすることになった。

7. 2012 年度 PD/研究懇談会の企画に関する依頼事項について（資料 No.4-6）

・光環境運営委員会省エネルギー照明の計画と運用 WG から、「東日本大震災に伴う節電環境から考えるこれからの設備計画（仮）」に関する PD あるいは研究懇談会の企画に関する検討依頼があった。

- ・内容説明頂く予定の本間委員が欠席のため、羽山主査より主旨を確認することになった。

8. 次回予定 2011 年 11 月 8 日(火) 17:00（環境工学本委員会終了後）～ 於：建築会館

（文責：郡）